

女子決勝戦評

龍ヶ崎	61	10	vs	8	39	岡田
		15		13		
		18		9		
		18		9		

岡田⑤の得点からスタート。龍ヶ崎⑦すぐに入れ返すが、その後は互いに得点が伸びない。1Q終了間際、龍ヶ崎⑦のスティールからの得点で4点差に広げるが、すぐさま岡田⑤のミドルシュートで食い下がり10—8で1Q終了。

龍ヶ崎1—2—1—1のゾーンプレス。岡田も前から2人でプレッシャーを掛けるディフェンスで主導権を握ろうとする。岡田④、⑧の力強いインサイドのプレーでリードするも、徐々に龍ヶ崎のゾーンプレスが機能し始め、龍ヶ崎④の連続得点もあり龍ヶ崎が逆転し、前半は25—21で龍ヶ崎リードで終了。

龍ヶ崎は引き続き1—2—1—1のゾーンプレス。岡田もオールコート2—1—2のゾーンでスタート。互いにフリースローを決めたところで龍ヶ崎⑦の力強いリバウンド、④のミドルシュートと龍ヶ崎が勢いに乗り始める。岡田も⑨のスティール⑥、⑦の得点で応戦するも龍ヶ崎の勢いを止めることができず3Q、18—9で終了。

3Qのそのままの流れを変えられず、4Q早々に岡田はタイムアウトを取ったが、龍ヶ崎は岡田④に龍ヶ崎⑩をマークに付けてのボックスワンディフェンスをして岡田はなかなか攻めきれない。龍ヶ崎の速攻が連続し勝負が決まった。

岡田も最後まで諦めなかったが、地力に勝る龍ヶ崎が61—39で勝利した。